

めぐみイエス・キリスト教会

2025年1月5日(日)2025年新年礼拝

午前10時より

週報「通算第739号」



2025年標題聖句

イザヤ書40章30節～31節

《若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌148「夕べ雲焼くる」	p. 206
【交読文】	No.50 イザヤ書53章(抜粋)	p. 919
【賛美Ⅱ】	新聖歌299「山辺に向かいてわれ」	p. 476
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【前回説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲「み言葉にかえろう」	
【聖書朗読】	イザヤ書40章27節～31節	
【礼拝説教】	《主にある人生とは？》	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

※本日の聖書箇所(イザヤ書40章27節～31節)旧約p.1232

40:27 ヤコブよ、なぜ言うのか。イスラエルよ、なぜ言い張るのか。「私の道は【主】に隠れ、私の訴えは私の神に見過ごされている」と。

40:28 あなたは知らないのか。聞いたことがないのか。【主】は永遠の神、地の果てまで創造した方。疲れることなく、弱ることなく、その英知は測り知れない。

40:29 疲れた者には力を与え、精力のない者には勢いを与えられる。

40:30 若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。

40:31 しかし、【主】を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。

●ポイント1. 主なる神様の約束

※イザヤ書43章1節～5節前半「恐れるな」 (旧約p.1237)

43:1 だが今、【主】はこう言われる。ヤコブよ、あなたを創造した方、イスラエルよ、あなたを形造った方が。「恐れるな。私があなただを贖ったからだ。私はあなたの名を呼んだ。あなたは、私のもの。

43:2 あなたが水の中を過ぎるときも、私は、あなたと共にいる。川を渡るときも、あなたは押し流されず、火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃えつかない。

43:3 私はあなたの神、【主】、イスラエルの聖なる者、あなたの救い主であるからだ。私はエジプトをあなたの身代金とし、クシュとセバをあなたの代わりとする。

43:4 私の目には、あなたは高価で尊い。私はあなたを愛している。だから、私は人をあなたの代わりにし、国民をあなたの命の代わりにする。 43:5 恐れるな。私があなたと共にいるからだ。

※イザヤ書46章3節～4節「私は背負う・私は運ぶ」 (旧約p.1246)

46:3 ヤコブの家よ、私に聞け。イスラエルの家のすべての残りの者よ。胎内にいたときから担がれ、生まれる前から運ばれた者よ。

46:4 あなたがたが年をとっても、私は同じようにする。あなたがたが白髪になっても、私は背負う。私はそうしてきたのだ。私は運ぶ。背負って救い出す。

●ポイント2. 主イエス様の約束

※マタイの福音書28章18節後～20節「ガリラヤにおいて」 (新約p.64)

28:18 「私には天においても地においても、全ての権威が与えられています。

28:19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子となさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、

28:20 私があなたがたに命じておいた、全てのことを守るように教えなさい。見よ。私は世の終わりまで何時もあなたがたと共にいます。」

◎先週のメッセージ【主に感謝せよ】

《詩篇136篇は聖都エルサレムに巡礼する時に、導き手が最初の句を歌い上げ、次に会衆が、唱和するという形態で作られています。

1節から4節は、主なる神への感謝が謳われています。また、1節から9節までに、「感謝せよ」という言葉が5回も出て来ます。これは、単に心に思うのではなく、実際に口で告白することを意味しています。

私たちが口にする言葉は、非常に大切であり重要です。パウロは、『あなたがたの間では、聖徒に相応しく、淫らな行ないも、どんな汚れも、また貪り^{むさぼ}も、口にする^{くち}ことさえしてはいけません。また、わいせつなことや愚かなおしゃべり、下品な冗談もそうです。これらは相応しくありません。むしろ、口にすべきは感謝の言葉です。』と勧めています。

私たちが口にすべき言葉は、神様に対する感謝の言葉なのです。さて、感謝することが多くあることは素晴らしいことですが、人生は、すべてが順風満帆ではなく、時には予期せぬ試練の中に置かれる場合もあります。そんな時に、私たちは、どうしたら良いのでしょうか。

『いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝しなさい。』と、パウロは勧めています。

これは、感謝出来ないことも感謝しなさいということです。このことを「賛美のいけにえ」と呼びます。なぜそうしなければならないのでしょうか。それは、神様の私たちへの約束があるからです。その約束とは、『神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことが共に働いて益となることを、私たちは知っています。』と。この言葉は、パウロ自身が体験し確信した真理であるとも言えます。また。神様は、試練に耐えられるように、試練と共に脱出の道も備えていて下さるのです。だからこそ、私たちは、何時、いかなる時も、いかなる場所においても神様に感謝するのです。新しい年、2025年も感謝のうちに歩むことになるかと信じています。》

◎お知らせ

※次回は2025年1月12日午前10時より、通常通り行ないます。